

# Champion

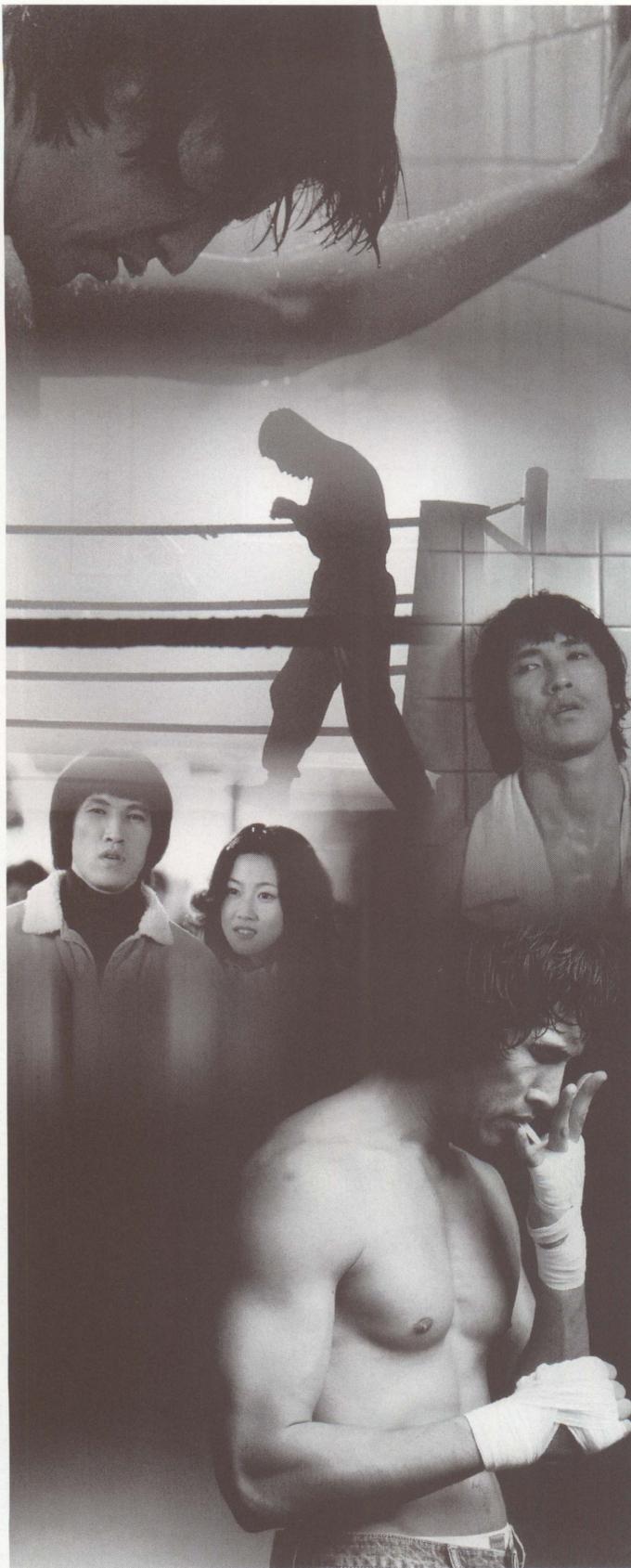
愛は死なない

## チャンピオン

男はチャンピオンを目指した。女はそれが自分への愛の証だと気づいた。—『友へ チング』のコンビが贈る愛の神話。

presented by KOREA PICTURES a ZINNSA FILM production written & directed by KT Kwak produced by Cho Won-jang (director of photography Hong Kyung-pyo / starring Yoo Oh-sung, Chae Min-seo  
監督・脚本:ファク・キョンテク [友へ チング] 主演:ユ・オソン | チェ・ミンソ 2002年 | 韓国映画 | 117min 提供:メディア・スーツ+ホニーキャニオン 配給:メディア・スーツ ⑧ <http://www.mediasuits.co.jp>





男はチャンピオンを目指した。

女はそれが自分への愛の証だと気づいた—。

男はチャンピオンを目指した。それが命とひきかえになることだとしても、ただひたすら真っ直ぐに生きた男。彼は、自分の愛情さえも、自分の信じた方法で表現することしか出来なかった。「勝って帰ってくる」、男はそれだけ言って、ラスベガスへと旅立った。女はそれが自分への愛の証だと気がついてた。男を羽ばたかせること、それがその思いに応えるただ一つの方法だった。たとえ、どんな結末が待っているとしても。だが、女は誰よりも勝利を信じた。WBAライト級世界タイトルへの挑戦。世界的にはまだ無名だった一人の男が王者に挑んだ。果敢に闘い、もう少しで王座に手が届くか、と思えた時…テレビで見守る女の目に飛び込んで来たのは、倒れたまま動かぬ男の姿だった。男は遂に帰って来なかった…。まっすぐに愛するためには命も惜しくはない…男の生きた姿こそまさに「チャンピオン」そのものだった。最も純粹で、胸を打つ究極の選択。男には自分の信じた道をただ行く以外の生き方はなかった。

『友へ チング』のコンビが贈る愛の神話—。

韓国映画史上最大のヒットとなった『友へ チング』で男同士の友情を謳い大ブレイクを果たし、韓国の松田優作との呼び名を得たユ・オソン。本作で彼が新たに見せるのは、1982年当時、世界チャンピオンだったレイ・マンシー二に挑んだ実在のボクサー、キム・ドゥック。ユ・オソンは武骨であると同時に繊細さを持つこと、武骨でなければあり得ない、純粹で真っ直ぐな愛を表現するという難しい役柄を見事に演じきった。彼は実に6ヶ月もの間トレーニングを続け、本物と見まごうばかりの肉体を作り上げ、作品の中でボクサーとして生きた。そして、その内に秘めた優しさを見事に表現し、『友へ チング』以上の絶賛を浴びたのだ。その愛を受け止める運命の女。出会い、彼を支え、やがて旅立たせる事で愛に応える女性に扮したチェ・ミンソは、オーディションで300人の中から選ばれた新人だが、その凜とした美しさと存在感はユ・オソンに負けてはいない。韓国映画界の新たなカリスマ俳優とまだ全く色のついていない新人の組み合わせ。この作品には至高の愛を描きながら、誰にでも感情移入できる普遍性がある。

キム・ドゥックとは

1982年11月14日ラスベガス、WBAライト級世界タイトルマッチで善戦むなしくKO負けを期した伝説のボクサー。意識を失った彼は病院に運ばれ、そのまま、帰らぬ人となった…そして全国民の胸に“キム・ドゥック”という名を刻ませた。

チャンピオン  
Champion

監督:クァク・キョンテク(『友へ チング』)

製作:チョ・ワンジャン 脚本:クァク・キョンテク 撮影監督:ホン・ギョング

出演:ユ・オソン(『友へ チング』) | チェ・ミンソ | ユン・スンワン | ジョン・ドホン | キム・ビョンソ | ジ・デハン

提供:メディア・スーツ+ボニーキャニオン 配給:メディア・スーツ ㊄

2002年 | 韓国映画 | 119分 | シネマスコア | ドルビーSRD

